

ミヒャエル・ハネケ

Michael Haneke

生年月日 1942/03/23

出身地 ドイツ／ミュンヘン

【バイオグラフィ】

■ドイツ人俳優で監督の父とオーストリア人女優の母との間に生まれ、オーストリアで育つ。ウィーン大学を卒業後、批評家やTV編集などを経て、1974年のTVムービー「After Liverpool（原題）」で監督デビュー。89年の「セブンス・コンチネント」で劇場長編初メガホンを執る。「ファニーゲーム」(97)で初めてカンヌ国際映画祭コンペ部門に招待され、その衝撃的な内容で物議を醸した。以来カンヌの常連となり、2001年の「ピアニスト」は審査員特別グランプリを受賞、09年の「白いリボン」ではついにパルム・ドールに輝く。12年の「愛、アムール」も再び同賞を獲得したほか、数々の映画賞で大喝采を浴びた。また、舞台監督としても多くの作品を演出している。映画作品において、破滅や暴力を淡々と描写し、後味が悪く不快感を誘う作風が特徴的だが、人間の内面に潜む本質を鋭く抉り出す独特の手腕は秀逸。

【フィルモグラフィ】

天才たちの頭の中～世界を面白くする107のヒント～ (2018)	出演
ハッピーエンド (2017)	監督,脚本
愛、アムール (2012)	監督,脚本
白いリボン (2009)	監督,脚本
ファニーゲーム U.S.A. (2007)	監督,脚本
隠された記憶 (2005)	監督,脚本
毎秒[24]の真実 (2004)	出演
タイム・オブ・ザ・ウルフ (2003)	監督,脚本
ピアニスト (2001)	監督,脚本
コード：アンノウン (2000)	監督,脚本
ファニーゲーム (1997)	監督,脚本
カフカの「城」 (1997)	監督,脚本
71フラグメンツ (1994)	監督,脚本
ベニーズ・ビデオ (1992)	監督,脚本
セブンス・コンチネント (1989)	監督,脚本